

公益財団法人日本アレルギー協会関東支部

〒102-0074

東京都千代田区九段南 4-5-11

富士ビル4階

TEL 03-3222-3437

FAX 03-3222-3438

ホームページ

http://www.jaanet.org/aboutus/4_index_msg.html

関 東 支 部

だ よ り

第 13 号 (2013 年 1 月発行)

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

昨年は内外ともにあわただしい一年ではありましたが会員の皆様方におかれましては、益々ご活躍のことと存じます。

さて、当関東支部では、昨年も会員皆様のご協力で例年通り、アレルギー週間での市民講座の開催、研究支援、患者団体支援等の活動をおこなうことができました。また昨年 10 月には当協会の実地医家向け「アレルギー研修会 2012 横浜」が開催され、当支部はこれに協力いたしました。本年度も引き続き、例年通り各種活動をおこなう予定ですので、よろしく願いいたします。

また、昨年、当協会正会員の募集をおこないましたところ、関東支部地域の先生方より 50 余名の新規加入をいただき、当支部の正会員は約 300 人となりました。本年も募集中で、多くの先生方の新規加入をお待ちしております。

当関東支部だより第 13 号のトピックスとして慶應義塾大学医学部皮膚科准教授 海老原 全先生に「アトピー性皮膚炎における TARC 測定の有用性について」を執筆していただきました。また例年通り、1～7 月の各種アレルギー関連行事予定も掲載いたしました。

尚、支部経費節約のため、本号を以て郵送を中止し、次号より当分の間、関東支部ホームページ (http://www.jaanet.org/office/kanto_letter.html) に掲載のみといたしますので、ご了承の程、よろしく願いいたします。次号は本年 6 月末に発行の予定です。

本年も当支部を含め日本アレルギー協会の活動のため会員皆様のご協力をよろしく願いいたします。では皆様、本年もお元気でご活躍ください。 関東支部長 伊藤 幸治

2. 本号の目次	頁
1. 新年ご挨拶	支部長 1
2. 本号の目次	2
3. 関東支部評議員会報告	2～3
4. アレルギー週間講演会等について	3
5. トピックス「アトピー性皮膚炎における TARC 測定の有用性について」海老原 全	4～6
6. アレルギー協会主催・共催・後援の講演会 (当関東支部地域：東京都、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川の各県分、2013年1月～7月)	7
7. 患者団体講演会、集会（同）	8～10
8. 一般社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会（日本アレルギー学会と同 関連学会）（2013年1～7月）	11
9. 一般社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会（当関東 支部地域：東京都、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川の各県分、2013年1月～7月）	12～14
10. 公益財団法人日本アレルギー協会理事、監事、評議員	14
11. 関東支部評議員会議事録（平成24年8月1日）	15
12. 平成24年度関東支部評議員県（地区）別業務分担表	16
13. 平成24年度関東支部評議員業務分担表	16

3. 関東支部評議員会報告

関東支部評議員会は平成24年8月1日、東京會館にて開催されました。平成23年度の関東支部役員会決定に基づき、支部長を含め計28名により新たに関東支部評議員会がスタートしました。種々審議の結果、平成24年度も例年通りの研究助成、アレルギー週間での一般向け講演会を推進することが承認されました。また役員会の構成について審議されました。その詳細は本紙第15

頁 11. 関東支部評議員会議事録をご参照ください。

尚、支部長を除く関東支部評議員リストは本紙第 16 頁表の啓発活動委員会委員（アレルギー週間地区別委員）の欄をご覧ください。

4. アレルギー週間講演会等について

平成 24 年 6 月 1 日に公益財団法人日本アレルギー協会理事会が開催され、平成 25 年 2 月 17 日（日）～23 日（土）がアレルギー週間（テーマ「アレルギーの克服に向けて」）と定められました。これに関連して、同協会主催一般向けの第 19 回中央講演会：小児アレルギーの治療と自己管理～「アレルギー患児のQOL向上を目指して」が 2013 年 2 月 16 日（土） 13:00 ～ 16:30、日本教育会館 3 階ホール（東京都千代田区）にて開催されます。詳細は第 7 頁をご覧ください。

そのほか医師向け講演会、賛助会員向け講演会等も開催されます。

関東支部地域の一般向け講演会あるいは相談会が東京都、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川各県で開催が予定されています。詳細は第 7 頁をご覧ください。

また患者会主催の行事も予定されています。詳細は第 8～10 頁をご参照ください。

5. トピックス アトピー性皮膚炎における TARC 測定の有用性について

慶應義塾大学医学部皮膚科 海老原 全

アトピー性皮膚炎に対する治療戦略

アトピー性皮膚炎の病態には、角層の異常に起因する皮膚の乾燥とバリア機能異常という皮膚の生理学的異常および多彩な非特異的・特異的アレルギー反応の関与が考えられている。2006年に病因について英国より重要な報告が成された。フィラグリン遺伝子に変異が存在することがアトピー性皮膚炎の重要な発症因子であることが示された。表皮の表面から2層目の顆粒層細胞はケラトヒアリン顆粒と呼ばれる顆粒を有し、その主要な構成成分がプロフィラグリンである。角層細胞へと変化、角化していく際に切断されてフィラグリンとなり、ケラチン線維を凝集し、角層細胞の骨格形成に働く。さらに角層最上層ではアミノ酸にまで分解され、このアミノ酸およびその代謝産物は一般に天然保湿因子と呼ばれ、角層の保湿に関与すると考えられている。つまりフィラグリンは角層細胞を強固にし、皮膚の保湿を司る重要なタンパク質であるといえる。このフィラグリンの欠損によりバリア障害がおこり、アレルゲンが侵入、感作されやすくなり、アトピー性皮膚炎、さらにはアトピーマーチを起こすというメカニズムが考えられた。その後多くの追試がなされ、地域差は認めるものの、ヨーロッパでは15%-55%の患者で変異を認め、アトピー性皮膚炎の早期発症、成人後までのアトピー性皮膚炎の遷延、アトピー性皮膚炎と合併する喘息、アレルギー性鼻炎との関連性が示された。

日本では北大皮膚科よりアトピー性皮膚炎患者の27%が変異を有し、変異陽性例ではIgEが高く、重症例、成人移行例が多いことが報告された。フィラグリン遺伝子変異には人種差が存在し、欧米人と日本人では変異が異なり、現在日本人で8種の変異が同定されている。我々の教室でもその8種の変異について解析したところ、慶應義塾大学病院通院中のアトピー性皮膚炎患者238人のうち27人(11.3%)に変異がみつかった。臨床症状との関連については、性別、年齢、皮疹の重症度、皮疹の経過、発症時期、アレルギー疾患の既往、合併症、家族歴、血清IgE値、LDH、IgE RASTに関して、フィラグリン遺伝子変異の有無による差異は認めなかった。

また、動物モデル、フィラグリンノックアウトモデルを作成し検討したところ、角層の脆弱性、物理的・化学的・物理的・物理的刺激に対する障害されやすさ、物質の角層透過性の亢進、さらにはその後の経皮免疫応答

の亢進が認められた。

我々が得た結果からは、いまだ個別化治療は難しく、皮膚の保湿・保護を行い、バリア機能障害を補正し、炎症についてはステロイド、タクロリムス外用や抗アレルギー薬、シクロスポリン内服などを行い鎮静化させていく、皮膚の状態を崩さず保っていくことがアトピー皮膚炎に対する治療戦略と考えられる。

T A R C と は

従来、皮膚を視診し炎症の程度を判断していく際に、病勢マーカーとして補助的に使用してきたのは好酸球数、LDH、IgEであった。そのマーカーとして2008年7月1日より新たに加わったのがTARC(thymus and activation - regulated chemokine)/CCL17(CC chemokine ligand 17)である。TARCはTh2系のケモカインで、その受容体CCR4はTh2細胞に特異的に発現しているとされる。アトピー性皮膚炎では主に表皮角化細胞がTARCを産生し、末梢血中に存在するCCR4発現Th2細胞が皮膚へと遊走され、アトピー性皮膚炎発症に関与すると考えられている。TARCはアトピー性皮膚炎の重症度とよく相関し、病勢の変化を鋭敏に短期的に反映するとされる。好酸球数やLDHでは重症群の値が健常者のカットオフ値の約2倍であるのに対し、TARCは約10倍である。

保険適用はヒトTARC定量として、アトピー性皮膚炎の重症度評価の補助に対し採用されており、月1回200点+免疫学的判断料144点が算定可能である。

T A R C の 有 用 性 に つ い て

今回我々は当院通院、入院アトピー性皮膚炎患者についてTARCの変動について、皮疹重症度severity scoring of atopic dermatitis(SCORAD)、従来からの病勢マーカーである好酸球値やLDHとの相関に関して検討してみた。TARCが好酸球数やLDHと比較し、鋭敏にSCORADと相関する例が多く、他のマーカーと比べ、より皮疹の重症度判定の補助となりうることがわかった。1例を挙げると、入院時TARC24200pg/mlであったのが、9日間の入院で、6480にまで低下していた。他院の報告でも、好酸球数やIgEはすべての症例では病勢を反映していなかったのに対し、TARCは病勢をすべて反映しており、紅皮症のタイプでは高く、乾皮症主体の症例では低く、病変の範

困が広い症例では高い傾向があるとしている(伊藤ら、J Environ Dermatol Cutan Allergol 2012)。
また他の報告でも、皮疹の重症度判定 eczema area and severity index (EASI) と TARC との関連
について、急性増悪時、紅皮症では両者とも高く、顔の皮疹や散布疹が主体の場合は EASI は低い
が、TARC は高い、痒疹のタイプは EASI は高いが、TARC は低いとしている(前田ら、J Environ
Dermatol Cutan Allergol 2011)。

T A R C の 活 用

アトピー性皮膚炎患者は毎日皮膚とつきあい観察しており、変化を感じにくい面がある。変化
を実感したいからか、数字をほしがる傾向がある。その意味で治療意欲向上のツールとして、医
師・患者間での重症度・治療効果判定の共通の客観的指標として、TARC が最も適していることが
示された。

重症アトピー性皮膚炎ではシクロスポリンの内服を行うことがある。皮疹を診て落ち着いてか
ら中止するが、また再燃してシクロスポリン内服を繰り返している症例が存在する。今回の調査
でわかったのは、そのような症例では落ち着いたと考えた時点でも TARC は十分には低下していな
いことである。なかなかシクロスポリン内服をやめられない症例も存在し、5 名について検討し
たところ、平均 SCORAD 34.6 に対し TARC は 8620 と非常に高値であった。シクロスポリン内服の
効果判定において TARC はよい指標になるのではないかと考えられた。

最近プロアクティブ療法という言葉をよく耳にする。従来行われてきた、軽快してきた際には
保湿剤で寛解を維持、悪化時に抗炎症薬を外用するリアクティブ療法に対し、皮疹が軽快後も週
1-2 回抗炎症薬を外用することにより長期に寛解を維持しようとする方法である。プロアクティ
ブ療法に切り替えていく指標としても TARC はよいのではないかと考えられる。成人では 700pg/ml
が中等症と軽症の境界とされているが、落ち着ける目標を 500pg/ml とする報告がある。我々がタ
クロリムス軟膏によるプロアクティブ療法を目指した症例 5 名では、平均 SCORAD 15.0、TARC 714
pg/ml であった。今後この目標値については多くの症例を集積し、定めていく必要がある。

注意点としては、症例間の比較には適さない場合があるのと、他の疾患、たとえば悪性リンパ腫
や水疱性類天疱瘡などでも高値を示す症例があることが挙げられる。

6. アレルギー協会主催・共催・後援の講演会（当関東支部地域：東京都、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川の各県分、2013年1～7月）

* 一般向け

主催・共催 ・後援の別	日 時	テーマ・内容	場 所	主 催 者
主催*	2月16日（土） 13：00～16：30	第19回アレルギー週間中央講演会 ～小児アレルギーの治療と自己管理～ 「アレルギー患児のQOL向上を目指して」 <u>要申込</u> 基調講演と相談会 西牟田敏之（総合司会）、勝沼 俊雄（アレルギー性鼻炎・喘息）、 大矢 幸弘（アトピー性皮膚炎）、 栗原 和幸（食物アレルギー） 詳しい開催案内は協会ホームページ (http://www.jaanet.org/) またはアレルギー i (http://www.allergy-i.jp/)	日本教育会館 千代田区一ツ橋2-6-2 地下鉄都営三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線 神保町駅A1 出口下車徒歩3分 東京メトロ東西線竹橋駅北の丸公園側出口下車徒歩5分 同九段下駅6番出口下車徒歩7分	日本アレルギー協会 参加申込、相談会での質問を受け付けています。 参加希望者氏名、郵便番号、住所、年齢、職業、電話番号、疾患名および質問を記入して下記へ FAX： 03-3291-0223 E-mail： allergy@jc-inc.co.jp
主催*	2月2日（土） 14：00～16：30	アレルギー週間市民公開講座2013	所沢市民文化センター ミュージザ・スクエア	日本アレルギー協会 （埼玉地区責任者 永田 真）
主催*	2月10日（日） 14：00～16：00	山梨アレルギー市民フォーラム2013	山梨大学医学部（玉穂キャンパス）臨床小講堂/ 中央市	日本アレルギー協会 （山梨地区責任者 増山 敬祐）
主催*	2月17日（日） 14：00～16：00	アレルギー患者相談会 「～アレルギー疾患の予防、治療法をより良く知るために～」	横浜新都市ビル（そごう）9階市民フロア ミーティングルーム/横浜市	日本アレルギー協会 （神奈川地区責任者 秋山 一男）
主催*	2月17日（日） 13：45～16：15	千葉ブロック中央地区市民公開講座と相談会「～アレルギー疾患の克服に向けて～」	千葉市文化センター5階 セミナー室	日本アレルギー協会 （千葉地区責任者 西牟田敏之）
主催*	2月24日（日） 13：00～15：00	アレルギー週間東京多摩・城北地区市民公開講座	国立病院機構東京病院 大会議室	日本アレルギー協会 （東京城北・多摩地区責任者 大田 健）
主催*	3月3日（日） 13：00～15：30	千葉ブロック東部地区市民公開講座と相談会「アレルギー・アトピーの克服に向けて ～知っておきたい正しい対応～」	成田市保健福祉館	日本アレルギー協会 （千葉地区責任者 西牟田敏之）
主催*	3月16日（土） 13：00～15：00	アレルギー週間市民公開講座「成人喘息治療の最前線」	信州大学附属病院外来棟4階中会議室/松本市	日本アレルギー協会 （長野地区責任者 久保 恵嗣）

7. 患者団体講演会、集会（当関東支部地域：東京都、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川の各県分、2013年1月～7月）

会員以外の方でも自由に参加できます

日 時	会 名	会 場	主催団体、連絡先
1月24日（木） 18:00～	「食物アレルギー・エピペン対応研修会」 渡辺博子先生（国立病院機構神奈川病院小児科アレルギー科） ※ 厚木市内保育施設職員向け研修 定員100名 （事前申込：必要）	厚木市総合福祉センター （小田急線本厚木駅徒歩5分）	NPO 法人 アレルギーを考える母の会 http://www.hahanokai.org/ FAX 045-362-3106 E-mail:m-sonobe@cf6.so-net.ne.jp
1月27日（日） 14:00～17:00	新年特別講演会 ～10周年記念～ （事前申込：必要） 13～17時 バザー同時開催 NPO 法人 エパレク事務局 鎌田 TEL：090-8724-2184	泉ガーデンコンファレンスルーム1+2 地下鉄南北線「六本木一丁目」駅改札直結 日比谷線「神谷町」駅より徒歩6分	NPO 法人 環境汚染等から呼吸器病患者を守る会（通称：エパレク）事務局 http://eparec.org/ E-mail: eparec@nifty.com TEL 03-6272-9413
1月30日（水） 14:00～	「食物アレルギー・エピペン対応研修会」 高増哲也先生（神奈川県立こども医療センターアレルギー科医長） ※平塚市内保育施設職員向け研修 定員100名 （事前申込：必要）	平塚美術館ミュージアムホール （東海道線 平塚駅（東口改札）北口から徒歩20分、タクシーで5分）	NPO 法人 アレルギーを考える母の会 http://www.hahanokai.org/ FAX 045-362-3106 E-mail:m-sonobe@cf6.so-net.ne.jp
2月9日（土） 9:30～11:30	第8回勉強会（事前申込：必要） 「未定」 先生 サポート：医療関係者、資料配布あり。 定員50名 （決まりましたらHPでお知らせします）	ラクアルオダサガ4F「おださがプラザ」多目的ホール （小田急線 小田急相模原駅北口すぐ）	NPO 法人 相模原アレルギーの会 http://www.sagamihara-allergy.or.jp E-mail:all-kai@sagamihara-allergy.or.jp 事務所 TEL 042-745-8801
2月11日（月・祝日） 13:00～16:00	■「2013年アレルギーの研究最前線」 齋藤博久先生（国立成育医療研究センター研究所副所長） ■「ガイドラインにもとづく治療とは」 西間三馨先生（国立病院機構福岡病院名誉院長） ■世界アレルギー学会（インド）に参加して 栗山真理子（アラジーポット専務理事）	青山こどもの城： http://www.kodomon-shiro.or.jp 渋谷区／表参道駅下車すぐ	NPO 法人 アレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」 http://www.allergypot.net E-mail:info@allergypot.net TEL 090-4728-5421
2月23日（土）～24日（日） 13:00～16:00 23日（土）ぜんそく 24日（日）アトピー性皮膚炎	第19回アレルギー週間協賛行事：ぜんそく・アトピー性皮膚炎実践講座及び患者交流会 ぜんそく部門 正しい吸入法・合剤を含む各種吸入ステロイド薬とその特徴について 薬剤師：野崎和子様 アトピー性皮膚炎部門 「スキンケアの実際」 花王株式会社 吉田智保様 （事前申込：必要）	認定 NPO 法人日本アレルギー友の会事務所（都営新宿線・半蔵門線住吉駅、JR 錦糸町駅より都バス「住吉駅前」下車徒歩3分）	認定 NPO 法人 日本アレルギー友の会 TEL 03-3634-0865 （毎週火・土曜日 11:00～16:00） FAX 03-3634-0850 E-mail:j-allergy@nifty.com http://www.allergy.gr.jp

<p>2月23日(土) 13:50~</p>	<p>「食物アレルギー・緊急時の対応研修会」 今井孝成先生(昭和大学病院小児科講座講師)、大阪狭山市北岸忠志消防長 ※横浜市内 学校・園・児童福祉関係者・救急隊向け研修 定員200名 (事前申込:必要)</p>	<p>港南区民文化センター「ひまわりの郷」ホール (京浜急行線・横浜市営地下鉄線「上大岡駅」下車、「ウイング上大岡4階」)</p>	<p>NPO 法人 アレルギーを考える母の会 http://www.hahanokai.org/ FAX 045-362-3106 E-mail:m-sonobe@cf6.so-net.ne.jp</p>
<p>3月2日(土) 12:30~16:30</p>	<p>第34回アレルギーぜんそく講演会 〜大震災に備えて・ぜんそくっ子金メダルへの道〜 第1部 アレルギーを学ぶ 講演: 「アレルギーについて」秋山一男先生(独)国立病院機構相模原病院長 「小児食物アレルギー〜誤食に対する緊急対応を含めて〜」今井孝成先生(昭和大学病院小児科講座講師) 「アトピー性皮膚炎の最近の話題」池澤善郎先生(国際医療福祉大学教授) 第2部 「東日本大震災を振り返って〜震災からの教訓〜」三浦克志先生(宮城県立こども病院総合診療科部長) 「患者がアスリートとして成功するまで」清水宏保氏(インタビュー形式)</p>	<p>グリーンホール相模大野 多目的ホール(小田急線 相模大野駅下車北口より5分)</p>	<p>共催:NPO 法人 相模原アレルギーの会・相模原市 申し込み:NPO 法人 相模原アレルギーの会 http://www.sagamihara-allergy.or.jp E-mail:all-kai@sagamihara-allergy.or.jp 事務所 TEL 042-745-8801</p>
<p>3月23日(土) 10:00~</p>	<p>第7回「アナフィラキシー親子のための懇談会」 赤澤晃先生(東京都立小児総合医療センターアレルギー科部長)、今井孝成先生(昭和大学病院小児科講座講師) ・要予約30名、資料代等実費500円 (事前申込:必要)</p>	<p>横浜市旭区市民活動支援センター「みなくる」研修室 TEL045-382-1000 相鉄線「鶴ヶ峰」駅徒歩2分</p>	<p>NPO 法人 アレルギーを考える母の会 http://www.hahanokai.org/ FAX 045-362-3106 E-mail:m-sonobe@cf6.so-net.ne.jp</p>
<p>5月26日(日) 14:00~17:00</p>	<p>ぜんそく・アトピー性皮膚炎の講演会とQ&A 《ぜんそく・アトピー性皮膚炎最新治療》 第一部講師 聖マリアンナ医科大学横浜西部病院 呼吸器内科 駒瀬裕子先生 慶応義塾大学皮膚科准教授 海老原全先生 第二部講師を囲んでQ&A 「Q&A司会」 坂本芳雄先生(関東中央病院呼吸器内科部長) 江藤隆史先生(東京通信病院皮膚科部長) (事前申込:必要)</p>	<p>フォーラムミカサ・エコ(東京都千代田区) TEL 03-3291-1395 JR 神田駅下車徒歩5分</p>	<p>認定NPO法人 日本アレルギー友の会 TEL 03-3634-0865 (毎週火・土曜日 11:00~16:00) FAX 03-3634-0850 E-mail:j-allergy@nifty.com http://www.allergy.gr.jp/</p>

5月26日(日) 14:30~16:00	講演会 講演内容、場所などのお問い合わせは、 4月以降に直接事務局へお問い合わせください。 NPO 法人 エパレク事務局 鎌田 TEL : 090-8724-2184 E-mail : eparec@nifty.com		NPO 法人 環境汚染等から呼吸器 病患者を守る会(通称:エパレ ク)事務局 http://eparec.org/ E-mail: eparec@nifty.com TEL 03-6272-9413
6月15日(土) 13:00~15:00	第9回勉強会 (事前申込:必要) 「未定」 先生 サポート:医療関係者、資料配布あり。 定員50名 (決まりましたらHPでお知らせします。)	ラクアルオダサガ4F「おださ がプラザ」多目的ホール (小田急線 小田急相模原駅 北口すぐ)	NPO 法人 相模原アレルギーの会 http://www.sagamihara-allerg y.or.jp E-mail:all-kai@sagamihara-al lergy.or.jp 事務所 TEL 042-745-8801
毎週火・土曜日 (祝日を除く) 11:00~16:00 毎月第3土曜日 13:00~15:00	患者による療養相談 当会ベテラン患者相談員が相談に応じま す。(電話・来所) 患者交流会(ぜんそく・アトピー性皮膚炎) (事前申込:必要)	認定 NPO 法人日本アレルギー 友の会事務所(都営新宿線・ 半蔵門線住吉駅、JR 錦糸町駅 より都バス「住吉駅前」下車 徒歩3分)	認定NPO法人 日本アレルギー友 の会 TEL 03-3634-0865 (毎週火・土曜日 11:00~16:00) FAX 03-3634-0850 http://www.allergy.gr.jp/ E-mail:j-allergy@nifty.com
毎月第2土曜日 1月と8月はお休み。 13:00~16:00 (月によって変更の 場合がありますの で、参加希望の方は エパレク HP をご 覧ください)	ぜん息を自己管理するための学習会 (事前申込:必要)	港区高輪コミュニティぶら ざ内3階 高輪区民センター 地下鉄南北線・三田線「白金 高輪」駅下車、1番出口 (駅の真上です。)	NPO 法人 環境汚染等から呼吸器 病患者を守る会(通称:エパレ ク)事務局 http://eparec.org/ E-mail: eparec@nifty.com TEL 03-6272-9413
毎月第4火曜日(祝日 も開催) 10:00~12:00	アレルギー相談・患者交流会 「ちょっと chat の会」 どなたでもお気軽に。出入り自由です。 (事前申込:不要)	かながわ県民センター 15 階 セルフヘルプ相談室1 (「横浜」駅西口徒歩5分 横 浜市鶴屋町2-24-2) TEL045-312-1121(内 3501) FAX 相談045-312-6307	NPO 法人アレルギーを考える母 の会 http://www.hahanokai.org/ FAX 045-362-3106 E-mail:m-sonobe@cf6.so-net.n e.jp
毎月1回 9:30~11:30 隔月開催 10:00~12:00 不定期開催 【開催日等は、HPで お知らせしています】	しゃべり場/自由が丘 しゃべり場/八王子 出張しゃべり場:5人集まれば、どこで も開催、共催(患者会/学校/保健所等) 入退場は自由。初歩的質問、大歓迎です。	目黒区緑ヶ丘文化会館第2研 修室(部屋の変更あり) 八王子市民活動支援センター 主催共催など、ご希望の方法、 場所、時間、対象で開催して います。お気軽に相談下さい。	NPO 法人アレルギー児を支える 全国ネット「アラジーポット」 http://www.allergypot.net E-mail:info@allergypot.net TEL 090-4728-5421

8. 一般社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会（日本アレルギー学会と同関連学会）（2013年1～7月）

以下は一般社団法人日本アレルギー学会の許可を得て、同会誌「アレルギー」2012年12月号（61巻12号）1752-1764頁、会報「専門医制度情報 一般社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会開催予定（2013年・国内）」およびインターネット同学会公式サイト「一般社団法人日本アレルギー学会：専門医制度に係わる各種開催案内」より1～7月の日本アレルギー学会と同関連学会（*）のみを抜粋して掲載した。

回	会名	会期	会場	担当施設・連絡先	会長・TEL
31 *	日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	2月7日(木)～9日(土)	倉敷市芸文館	川崎医科大学耳鼻咽喉科学教室	原田 保
57 *	日本リウマチ学会総会・学術集会	4月18日(木)～20日(土)	京都国際会館	一般社団法人日本リウマチ学会 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-24 オカモトヤビル9階 TEL:03-5251-5353 FAX:03-5251-5354	中村孝志 ((独)国立病院機構京都医療センター)
53 *	日本呼吸器学会学術講演会	4月19日(金)～21日(日)	東京国際フォーラム	(社)日本呼吸器学会内 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目28番8号日内会館7階 TEL:03-5805-3560 FAX:03-5805-3554	三嶋理晃 (京都大学大学院医学研究科内科学講座呼吸器内科学)
25 *	日本アレルギー学会春季臨床大会	5月11日(土)～12日(日)	パシフィコ横浜	(大会事務局)千葉大学医学部アレルギー・膠原病内科 〒260-8670 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 TEL:043-226-2198 FAX:043-226-2199	岩本逸夫 (国保旭中央病院アレルギー・リウマチセンター) 0479-63-8111
43 *	日本アレルギー学会専門医教育セミナー	5月12日(日)13:30～16:45	パシフィコ横浜	一般社団法人日本アレルギー学会 〒110-0005 東京都台東区上野1-13-3	03-5807-1701
30 *	日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会	6月8日(土)～9日(日)	つくば国際会議場(エポカルつくば)	筑波メディカルセンター病院小児科 〒305-8558 茨城県つくば市天久保1-3-1	市川邦男 029-851-3511
44 *	日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会	7月5日(金)～6日(土)	小田急ホテルセンチュリー相模大野	(独)国立病院機構相模原病院臨床研究センター事務室 〒252-0392 神奈川県相模原市南区桜台18-1 TEL:042-742-9721 FAX:042-742-7990 事務局長:長谷川真紀	秋山一男

23	国際喘息学会日本・北アジア支部会	6月28日(金)～29日(土)	都市センターホテル(〒102-0083 東京都千代田区平河町2-4-1) TEL:03-3265-8211	埼玉医科大学アレルギーセンター 〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38 TEL:049-276-1319	永田 真 049-276-1111 (代表)
----	------------------	-----------------	--	---	------------------------------

(当行事は、まだ上記両資料に掲載されていないが当学会支部会のホームページに公表されている国際学会であるので、特にここに記載した)

9. 一般社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会

(当関東支部地域：東京都、長野・山梨・埼玉・千葉・神奈川の各県分、2013年1月～7月)

以下は一般社団法人日本アレルギー学会の許可を得て、同会誌「アレルギー」2012年12月号(61巻12号)1752-1764頁、会報「専門医制度情報 一般社団法人日本アレルギー学会専門医制度における認定学会・講習会・研究会開催予定(2013年・国内)」およびインターネット同学会公式サイト「一般社団法人日本アレルギー学会：専門医制度に係わる各種開催案内」より関東支部地域の1～7月分を抜粋して転載した。(日本アレルギー学会と同関連学会は上記8項に記載した)

回	会名	会期	会場	担当施設・連絡先	会長・TEL
62	関東耳鼻咽喉科アレルギー懇話会	1月20日(日) 14:30～17:40	日本教育会館9階 「平安の間」(東京)	日本医科大学耳鼻咽喉科 〒113-8602 東京都文京区千駄木 1-1-5	大久保公裕 03-3822-2131 (代表)
11	アレルギー性鼻炎フォーラム 2013	1月26日(土) 16:00～18:00	ホテルニューオータ ニザ・メイン 「鶴西の間」	新橋アレルギー・リウマチクリ ニック 〒105-0004 東京都港区 新橋2-16-1 ニュー新橋ビル318	奥田 稔 03-3591-5464
13	食物アレルギー研究会	1月27日(日) 9:30～17:00	昭和大学上條講堂	第13回食物アレルギー研究会 事務局 林/杉崎〒252-0392 神 奈川県相模原市南区桜台18-1 国立病院機構相模原病院臨床研 究センター TEL:042-742-8311 (代表)	近藤直実 (岐阜大学大学院医学系研究科 小児病態学)
21	長野県気管支喘息研究会	2月2日(土) 15:30～18:00	ホテルメトロポリタ ン長野(長野市)	信州大学医学部内科学第一講座 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1	久保恵嗣 0263-37-2629
15	神奈川吸入療法研究会	2月9日(土) 16:00～19:00	ローズホテル横浜	(独)国立病院機構相模原病院 〒252-0392 神奈川県相模原市南 区桜台18-1	秋山一男 042-742-8311
11	横浜小児アレルギー研究会	2月13日(水) 19:00～21:00	崎陽軒本店	神奈川県立子ども医療センター 〒232-8555 神奈川県横浜市南区 六ツ川2-138-4	栗原和幸 045-711-2351
36	吸入療法研究会	2月16日(土) 13:00～18:00	ベルサール八重洲	和歌山県立医科大学内科学第三 講座 〒641-8509 和歌山県和歌 山市紀三井寺811-1	田村 弦 073-441-0619
11	埼玉アレルギー研究会	2月20日(水) 19:00～21:15	サンシティ越谷	獨協医科大学越谷病院呼吸器内 科 〒343-8555 埼玉県越谷市南越 谷2-1-50	相良博典 048-965-1111
9	埼玉アレルギー性鼻炎フォー ム2013	2月21日(木) 18:50～21:10	浦和ロイヤルパイン ズホテル	自治医科大学附属さいたま医療 センター耳鼻咽喉科 〒330-8503 埼玉県さいたま市大 宮区天沼町1-847	飯野ゆき子 048-647-2111
24	城東地区小児アレルギー懇話会	2月23日(土) 17:00～20:00	両国第一ホテル5階	日本医科大学小児科 〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5	五十嵐徹 03-3822-2131 (代表)
3	East Saitama Total Allergy Conference (ESTAC)	2月26日(火) 19:00～21:00	ベルヴィギャザホー ル	獨協医科大学越谷病院呼吸器内 科 〒343-8555 埼玉県越谷市南越 谷2-1-50	相良博典 048-965-1111
41	埼玉喘息・アレルギー研究会	3月2日(土) 14:40～18:25	埼玉県県民健康セン ター1階 A・B 会議 室	凌雲堂寺師医院 〒330-0805 埼玉県さいたま市大宮区寿能町 2-72	(世話人) 寺師義典 048-641-6059

77	小児アレルギー同好会	3月2日(土) 16:00~18:00	ホテルグランドパレス	東京慈恵会医科大学附属第三病院 〒201-8601 東京都狛江市和泉本町4-11-1	勝沼俊雄 03-3480-1151
66	横浜市アレルギー懇話会	3月6日(水) 19:00~	崎陽軒本店	横浜市立大学附属市民総合医療センター呼吸器病センター 〒232-0024 神奈川県横浜市南区浦舟町4-57	金子 猛 045-261-5656
6	東京呼吸器・アレルギーカンファランス	3月7日(木) 19:15~21:00	ホテルメトロポリタン池袋	日本大学医学部呼吸器内科学分野 〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1 TEL:03-3972-8111 (内線2402)	大田 健 (独)国立病院機構東京病院)
18	アレルギー臨床懇話会	3月7日(木) 19:30~21:00	(独)国立成育医療研究センター1階講堂	(独)国立成育医療研究センターアレルギー科 成田雅美 〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1 TEL:03-3416-0181	大矢幸弘 03-3416-0181
10	日本喘息・COPDフォーラム/ Japan Asthma COPD Management Forum (JASCOM)	3月9日(土) 15:00~18:30	東京プリンスホテル	JASCOM事務局 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町2-9 カサヤビル1F(株)プラップジャパン内 TEL:03-3496-2218	
10	丹沢小児アレルギー・免疫勉強会	3月23日(土) 17:00~	厚木アーバンホテル	おのぼり小児科アレルギー科クリニック 〒259-1144 神奈川県伊勢原市池端182-1	尾登 誠 0463-92-8080
24	東京城南喘息・アレルギー研究会	3月28日(木) 19:15~21:00	ウェスティンホテル東京 B1階「桜」	呼吸器・アレルギー疾患研究所 〒107-0062 東京都港区南青山1-3-1 パークアクシス青山一丁目タワー2106	足立 満 03-6804-2671
21	関東アレルギークラブ	3月30日(土) 15:00~18:00	経団連会館	東京慈恵会医科大学〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8	松脇由典 03-3433-1111
8	小児アレルギー初期治療研究会	4月28日(日) 14:00~17:00	エーザイ会議室(予定)	東京女子医科大学東医療センター小児科 〒116-8567 東京都荒川区西尾久2-1-10	大谷智子 03-3810-1112
39	耳鼻咽喉科アレルギー懇話会	5月12日(日)	(未定)	日本臨床アレルギー研究所 〒105-0004 東京都港区西新橋2-16-1-318	奥田 稔 03-3591-5464
10	城南小児アレルギー懇話会	5月16日(木) 19:15~21:00	目黒雅叙園	〒142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8	板橋家頭夫 03-3784-8000
8	小児アレルギーAGORA in 城北	5月頃	日本大学板橋病院	日本大学医学部小児科 〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1	橋本光司 03-3972-8111
3	Airway Club Tokyo	5月 19:00~21:00	新宿京王プラザホテル	順天堂大学耳鼻咽喉科 三輪正人 〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 TEL:03-5802-1229	三輪正人(順天堂大学) 後藤 穰(日本医科大学)
27	アレルギー・好酸球研究会	6月15日(土) 9:00~17:00(予定)	東京慈恵会医科大学講堂	埼玉医科大学アレルギーセンター(事務局) 〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38 TEL:049-276-1319	山口正雄 (帝京大学呼吸器アレルギー内科)

4	小児炎症研究会	6月15日(土) 13:00~18:00	TKP八重洲カンファランスセンター	千葉県こども病院アレルギー・膠原病科 星岡 明 千266-0007 千葉県千葉市緑区辺田町 579-1 TEL:043-292-2111 (代表)	野間 剛
14	信州喘息・COPD Management Forum	6月15日(土) 18:00~20:00	ホテルメトロポリタン長野	長野県厚生農業協同組合連合会 新町病院千381-2404 長野県長野市信州新町上条 137	細川康雄 026-262-3111
37	吸入療法研究会	6月22日(土) 13:00~18:00	フクラシア東京ステーション	和歌山県立医科大学内科学第三講座 千641-8509 和歌山県和歌山市紀三井寺 811-1	田村 弦 073-441-0619
38	臨床アレルギー懇話会	6月頃(予定) 18:30~20:00	東京慈恵会医科大学	東京慈恵会医科大学千105-8471 東京都港区西新橋 3-19-18	中川秀己 03-3433-1111
34	日本炎症・再生医学会**	7月2日(火) ~3日(水)	国立京都国際会館	(第34回事務局) 京都大学大学院医学研究科内科学講座臨床免疫学千606-8507 京都府京都市左京区聖護院川原町 54 (事務取扱) UENO CONGRESS SERVICE 千602-0855 京都府京都市上京区河原町通荒神口下ル西側 安田ビル TEL:075-213-7057	三森経世
87	臨床免疫セミナー	7月6日(土) 18:35~20:50	矢満登ビル 3階会議室5(東京都中央区八重洲1-7-4)	北里大学医学部小児科 千252-0375 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1	野間 剛 042-778-8111
18	日本ラテックスアレルギー研究会	7月28日(日)	横浜シンポジア	横浜国立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学教室 千236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9	相原道子 045-787-2675
25	城東地区小児アレルギー懇話会	7月	未定	未定	未定

** 関東支部地域開催ではないが特に記載した。

10. 公益財団法人日本アレルギー協会理事、監事、評議員 (平成24年6月1日現在)

	理事長 宮本 昭正	
北海道	理事 有賀 正 (支部長)	評議員 高橋 裕樹
東北	同 田村 弦 (支部長)、山内 広平	同 高梨 信吾、棟方 充
北関東	同 土橋 邦生 (支部長)	同 鈴木 栄一
関東	同 伊藤 幸治 (支部長) 秋山 一男、足立 満	同 大久保公裕、大田 健 岡本 美孝、西牟田敏之
東海	同 高木 健三 (支部長)	同 近藤 直実
北陸	同 眞弓 光文 (支部長)	同 藤村 政樹
関西	同 東田 有智 (支部長)、川瀬 一郎	同 末廣 豊、竹中 洋
中国	同 宗田 良 (支部長)	同 秀 道広
四国	同 西岡 安彦 (支部長)	同 大串 文隆
九州	同 西間 三馨 (支部長)	同 久保 千春
本部	同 今村 聡、松尾 紀彦	
	監事 岩本 逸夫、佐野 靖之	

11. 関東支部評議員会議事録

- 1 日時 平成24年8月1日(水) 18時30分から20時
- 2 場所 LEVEL XXI東京會館
- 3 出席者 伊藤 幸治 秋山 一男 大久保公裕 岡本 美孝
久保 惠嗣 坂本 芳雄 西牟田敏之 藤本 圭作
森田 寛 山口 正雄
- 4 議長 支部長 伊藤 幸治
支部長から、支部評議員28名のうち出席者は10名、欠席者は18名であるが、うち15名から委任状をいただいております、会議は成立する旨の報告があった。
- 5 議事
 - I 報告事項
 - (1) 理事会報告
支部長から、資料1-1に基づいて本部事業計画、支部事業計画、その他について報告があった。
 - (2) 理事の改選、支部長選出
支部長から、資料2に基づいて佐野先生が監事に、秋山先生、足立先生、伊藤、宮本先生が理事に、理事の中から伊藤が支部長に再選されたという報告があった。
 - II 審議事項
 - (1) 平成23年度事業概要報告
支部長から、資料3に基づいて平成23年度の事業概要の報告があり、研究助成、第18回アレルギー週間行事は当支部の8地区で行われ、患者会への援助、関東支部だよりの発行が行われたという報告があった。
平成23年度事業概要報告は出席者に諮ったところ承認となった。
 - (2) 平成23年度収支決算報告
事務局から、資料4に基づいて平成23年度の収支決算の報告があった。収入に比べて支出がかなり上回っているが、繰越をとりくずして運営している状況である。また、斎藤 博久先生の監査を受けたものであるという補足があった。
平成23年度収支決算報告は出席者に諮ったところ承認となった。
 - (3) 平成24年度事業計画
支部長から、資料5に基づいて説明があり出席者に諮ったところ承認となった。
 - (4) 平成24年度収支予算
事務局から、資料6に基づいて説明があった。年々繰越が減っており、来年度くらいには特定資産としている定期預金をとりくずさないと運営できないという補足説明があった。
出席者から、収支を改善するために積極的に寄附を募る方策を考えてほしいという提案があった。
平成24年度収支予算は出席者に諮ったところ承認となった。
 - (5) 患者会援助、関東支部だよりの発行の件など
 - ① 患者会援助
支部長から、本年度は計画どおり援助するが、来年度は予算を見ながらやめることも考えるという説明があった。
 - ② 関東支部だより発行
支部長から、12月からはホームページ掲載のみにしたいという提案があった。
また、広告を集めて印刷することも考えているという説明があった。
 - (6) 平成24年度業務分担
支部長から、資料7に基づいて説明があった。鈴木 直仁先生は埼玉県に異動したため、東京城北・多摩地区のJAANet 編集委員は山口 正雄先生にお願いすることとした。業務分担は出席者に諮ったところ承認となった。
 - III その他
 - (1) 平成23年度個人会員状況
事務局から、資料8に基づいて報告があった。
 - (2) 関東支部評議員の改選について
支部長から、本年は2年に一度の改選の年であるが費用の関係から現状で運営し、来年実施の方向で次回評議員会で検討したいという説明があった。

以上を以って議事を終了し支部評議員会は閉会となった。

12. 平成24年度関東支部評議員県（地区）別業務分担表

県・地区	担当地域	地区別責任者 (研修責任者)	啓発活動委員会 (アレルギー週間地区別委員)	支部 JAANet 編 集委員
関東地区	関東全域			永田 真
東京都 中央・城東地区	千代田区、中央区、港区、文京区、 足立区、江戸川区、葛飾区、 江東区、墨田区	佐野 靖之	佐野 靖之 大久保公裕 久松 建一 森田 寛	森田 寛
東京都 城西・城南地区	大田区、渋谷区、品川区、新宿区、 杉並区、世田谷区、豊島区、 中野区、目黒区	足立 満	足立 満 斉藤 博久 坂本 芳雄	斉藤 博久
東京都 城北・多摩地区	荒川区、板橋区、北区、台東区、 練馬区、 東京23区以外の市町村	大田 健	大田 健 塩原 哲夫 眞野 健次 山口 正雄	山口 正雄
埼玉県	埼玉県全域	永田 真	永田 真 飯野ゆき子 鈴木 直仁	倉島 一喜
千葉県	千葉県全域	西牟田敏之	西牟田敏之 岩本 逸夫 岡本 美孝 河野 陽一 富岡 玖夫 中島 裕史	岩本 逸夫
神奈川県	神奈川県全域	秋山 一男	秋山 一男 池澤 善郎 海老澤元宏 栗原 和幸	長谷川眞紀
山梨県	山梨県全域	増山 敬祐	増山 敬祐	松崎 全成
長野県	長野県全域	久保 恵嗣	久保 恵嗣 藤本 圭作	藤本 圭作

13. 平成24年度関東支部評議員業務分担表

学術講習委員会	研究助成委員会		関東支部だより編集委 員会	庶務・会計
	委員会	審査部会		
◎ 富岡 玖夫	◎ 秋山 一男	◎ 秋山 一男	伊藤 幸治	斉藤 博久
○ 足立 満	○ 岡本 美孝	○ 岡本 美孝	山口 正雄	
秋山 一男	足立 満	足立 満		
坂本 芳雄	伊藤 幸治	伊藤 幸治		
佐野 靖之	大田 健	河野 陽一		
塩原 哲夫	久保 恵嗣	富岡 玖夫		
鈴木 直仁	栗原 和幸			
増山 敬祐	河野 陽一			
	富岡 玖夫			
	森田 寛			
	山口 正雄			